岩盤柱状図

調査名　小仁方一丁目8地区 急傾斜地崩壊対策事業に伴う業務委託

事業名または工事名

調査目的及び調査対象　砂防 地すべり・斜面崩壊

ボーリング名	BP.No.23-2	調査位置	広島県呉市川尻町小仁方一丁目　地内	北緯	34°12'52.4572"
発注機関	広島県西部建設事務所　呉支所	調査期間	令和5年2月14日～令和5年2月20日	東経	132°40'49.4514"
調査業者名		照査技術者		管理技術者		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	GH 28.96 m	角度	180°上 90° 下 0° 0°	方位	北 0° 270°西 90°東 180°南	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90° 28°	使用機種	試錐機	東邦DO
総削孔長	5.00 m								エンジン	ヤンマーNFD-9	ポンプ	東邦BG-3C

標尺 m	標高 m	深度 m	工学的地質区分名(模様)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 % / 最大コア長 cm / RQD % (0 20 40 60 80 100)	記事	地質時代区分	孔内水位 m／測定月日	標準貫入試験 深度-N値 (0 10 20 30 40 50)	N値	深度 m	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	削孔月日	削孔速度 cm/h	孔径mm・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 MPa	回転数 rpm	送水圧 MPa	送水量 l/min
1	27.46	1.50		礫混じり砂	黄褐							(100)	崩落性の堆積土砂。粗砂を主体とし、30mm以下の小礫を多く混入する。											70	B2		20	60	-	-
2												(0) (100)	風化に伴い、軟質化が進行する。				11	1.15 1.45	2	3	6	11/300								
3												(0) (100)	硬質マサ状を示し、粗砂状～細礫状コアを採取する。				107.1	2.15 2.29	31	19/40		50/140								
4												(0) (100)	コアは、柱状を保つが指圧で容易に砕け砂状を呈する。				300	3.05 3.10	50/50			50/50								
5	23.96	5.00		風化花崗閃緑岩	褐灰	w4	h2	E	V	d	DH	(0) (100)	深度に伴い、硬質化が進行する。岩級区分は、DH級を示し、岩質区分は軟岩Ⅰ相当を呈する。		無し		187.5	4.15 4.23	50/80			50/80	2/17	150	66	W/MC	20	60	0	-
																	214.3	5.05 5.12	50/70			50/70								

株式会社アース開発コンサルタント